



平成 27 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 神代 亜紀  
(コード番号 3726 東証二部)  
問合せ先 経営企画室長 山戸 明仁  
(TEL. 092-720-5460)

## 第 2 四半期累計期間における

### 業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

平成 26 年 11 月 10 日に公表しました平成 27 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 27 年 9 月期 第 2 四半期連結累計期間 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	950	14	12	9	1.38
実 績 値 ( B )	869	△21	△22	△25	△3.87
増 減 額 ( B - A )	△80	△35	△34	△34	—
増 減 率 ( % )	△8.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 9 月期第 2 四半期)	582	0	10	223	39.21

#### 2. 差異の理由

当社グループは、前連結会計年度において、コア事業である化粧品及び健康食品等の通信販売事業に注力するため、事業関連性の低い関連会社を売却し、高い事業シナジーが期待できる株式会社サイエンスボーテを連結子会社とするグループの再編を行いました。当連結会計年度におきましては、早急に事業シナジーを発揮すべく、ノウハウの共有等を進めております。

まず、売上高に関しましては、新規顧客の獲得を得意とするサイエンスボーテが順調に新規顧客を獲得しており、株式会社フェヴリナにおきましてはサイエンスボーテのノウハウを共有すべくテストマーケティングを繰り返し行っておりますが、前回発表予想を下回る結果となりました。

利益面におきましては、通信販売事業において事業の基盤となる新規顧客を獲得するための販売施策を積極的に行っていることから、当初予定より広告宣伝費等が増加しており、前回発表予想を下回る結果となりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、他の要因を含め現在精査中であり、今後、詳細が判明次第お知らせいたします。

※ 上記の予想は、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上